

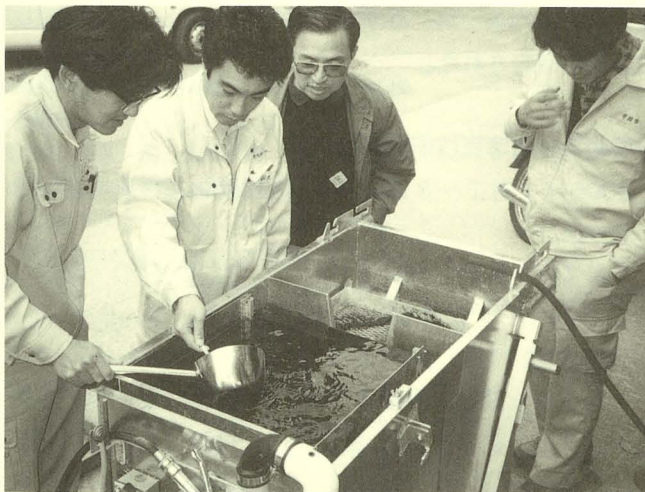
2 研修・指導と教育

埋蔵文化財センターの研修と指導

文化財の保存・活用を推進し、国民に対するサービスの向上を図るため、地方公共団体職員等に対する研修を実施している。今年度開催した課程数は、14 課程であり、一般研修を1 課程、専門研修として8 課程を、そして特別研修5 課程を開催した。総受講者数は、263 名であった。また、遺跡学をめざした遺跡の保存と活用に関する特別講座を開講した（研修一覧参照）。

そのほかにユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所主催のアジア・太平洋地域文化遺産保護調査修復研修に関わる協力として、2000 年 11 月 14 日～12 月 15 日の間、受講者 15 名に対して、遺跡探査・保存科学概説および実習等を実施したほか、個人研修として、ネパール1 名（10 月 20 日～10 月 31 日）、ミャンマー1 名（11 月 20 日～12 月 20 日）、および中国1 名（11 月 8 日～12 月 23 日）の研修を実施、協力した。

さらに、地方公共団体等の関係機関に対する指導・助言等の協力をおこなった。今年度は、地方公共団体等がおこなう史跡等の整備事業に対する専門的・技術的指導・助言は約 151 件であった。



環境考古学研修風景

■ 2000 年度 埋蔵文化財発掘技術者等研修課程一覧

区分	課程	実施期日
一般研修	一般課程	6月22日～7月28日
専門研修	保存科学課程	5月18日～6月2日
	文化財写真課程	8月17日～9月20日
	測量外注管理課程	9月26日～10月6日
	遺跡環境調査課程	10月17日～10月26日
	遺跡保存整備課程	11月1日～11月29日
	寺院遺跡調査課程	12月5日～12月15日
	報告書作成課程	1月10日～1月19日
	生産遺跡調査課程	2月15日～2月27日
特別研修	埋蔵文化財基礎課程	6月8日～6月16日
	信仰関連遺跡調査課程	5月9日～5月12日
	遺跡地図情報課程	12月21日～12月26日
	遺跡写真課程	1月25日～1月31日
	写真測量外注管理課程	2月6日～2月8日

定 員	対 象	内 容
24名	地方公共団体の埋蔵文化財担当職員若しくはこれに準ずる者で、発掘調査の経験が十分でない者	遺跡の発掘調査を進めるために必要な基礎的知識と技術の研修
16名	地方公共団体の埋蔵文化財担当職員若しくはこれに準ずる者で、一般研修修了者又はそれと同程度の経験を有する者	遺物の保存に関する保存科学的な専門的知識と技術の研修
16名	〃	埋蔵文化財の写真撮影等に関して必要な専門的知識と技術の研修
16名	〃	外注管理に必要な測量基礎の実習と仕様書の作成などに必要な専門的知識の研修
16名	〃	遺跡の発掘において、第四紀学の成果を用いて過去の自然環境を推定復原する方法を学ぶ研修
16名	〃	遺跡の保存整備に関して必要な専門的知識と技術の研修
24名	〃	古代寺院の調査研究に関して必要な専門的知識と技術の研修
24名	〃	見やすく読みやすい報告書の作り方と、図録・学術誌編集の基礎に関する研修
24名	〃	生産遺跡の調査法と、その成果をもとにした工房復原の手順・方法を学ぶ研修
30名	地方公共団体の埋蔵文化財担当の事務系職員若しくはこれに準ずる者	埋蔵文化財行政を担当するうえで必要な遺跡・遺物に関する基礎的知識の研修
30名	地方公共団体の埋蔵文化財担当職員若しくはこれに準ずる者で、一般研修修了者又はそれと同程度の経験を有する者	考古学から宗教を復原するために必要な専門知識と学問的手続を研修
30名	〃	埋蔵文化財の調査研究へのGISの応用に関する基礎的知識の研修
16名	〃	発掘調査に必要な写真撮影の技術を習得するための研修
30名	〃	写真測量による地形図・遺構図を外注した際の成果品の評価等に必要な基礎的知識の研修

2000年度 日本各地の遺跡・建造物等に関する指導・協力一覧

(委員として指導・協力しているものに限る)

(北海道) 網走市史跡等 フゴッペ洞窟 北黄金貝塚
常呂町史跡 カリンバ3遺跡(青森県) 五所川原須恵器窯跡群 三内丸山遺跡
総合運動公園遺跡ゾーン(岩手県) 西方寺毘沙門堂 御所野遺跡 柳之御所遺跡
盛岡城跡

(宮城県) 多賀城跡

(秋田県) 伊勢堂岱遺跡 大湯環状列石 払田柵跡

(福島県) 宮畑遺跡 長井前ノ山古墳 夏井廃寺範囲確認
福島県文化財センター安達館基本計画

(茨城県) 平沢官衙遺跡

(栃木県) 上神主・茂原遺跡

(新潟県) 県立歴史博物館総合研究 県立歴史博物館展示

(富山県) 桜町遺跡

(石川県) 真脇遺跡 七尾城跡 真脇遺跡出土縄文土器
加茂遺跡出土木製品(福井県) 一乗谷朝倉氏遺跡 鳥浜貝塚出土木製品
小浜市埋蔵文化財遺物 向山古墳出土品 国吉城址

(岐阜県) 美濃国府跡 昼飯大塚古墳 柿田遺跡

(静岡県) 県史跡・考古資料 新居関跡 登呂遺跡 藤枝市史編さん
横須賀城跡 長浜城跡 県指定文化財
西の谷遺跡出土銅鐸(愛知県) 小長曾陶器窯跡 三河国分尼寺跡
愛知県埋蔵文化財 吉胡貝塚(三重県) 上野遺跡 宝塚古墳 天白遺跡 梅田遺跡
赤木城跡田平子刑場跡 長者屋敷遺跡 名谷遺跡(滋賀県) 近江国庁跡 安土城跡 野路小野山製鉄遺跡
彦根城跡 宮町遺跡 紫香楽宮跡 曳山飾金具(京都府) 恭仁宮跡 鹿苑寺修羅 高麗寺跡
椿井大塚山古墳 赤坂今井墳丘墓 長岡京跡

(大阪府) 堺市土塔 今城塚古墳 新堂廃寺

(兵庫県) 新宮宮内遺跡 赤穂城跡 赤穂城跡二の丸錦帯池跡
西条古墳群史跡 姫路城内曲輪御殿群 栗鹿遺跡
新方遺跡出土自然遺物 梅田東古墳群出土遺物
山名氏城跡

(奈良県) 藤ノ木古墳 酒船石遺跡 頭塔 キトラ古墳

(鳥取県) 上淀廃寺跡出土壁画塑像 上原遺跡 妻木晩田遺跡
大御堂廃寺 伯耆古代の丘 新井三嶋谷墳丘墓(島根県) 荒島古墳群 出雲大社境内遺跡 三瓶埋没林
加茂岩倉遺跡銅鐸 石見銀山遺跡 出雲国府跡
斐伊川放水路 海上遺跡 古志本郷遺跡
西谷墳墓群等 出雲国分寺跡 出雲郡家関連遺跡群

(岡山県) 鬼城山 備中松山城跡 津山城跡

(広島県) 安芸国分寺跡 府中市埋蔵文化財

(山口県) 大内氏館跡 小野田セメント徳利窯 周防国府跡

(徳島県) 阿波国分尼寺跡 阿波国府跡関連遺構 矢野遺跡

(香川県) 有岡古墳群 宗吉瓦窯跡

(愛媛県) 来住廃寺跡 宇和島城跡

(福岡県) 太宰府跡 鴻臚館跡 三雲遺跡等

(佐賀県) 歴史資料館 佐賀公園歴史の森 西九州自動車道
肥前国府跡 名護屋城並びに陣跡(長崎県) 双六古墳 原の辻遺跡 原城跡 対馬藩主宗家墓所
鷹島海底遺跡

(熊本県) 大村横穴群 松山遺跡

(大分県) 白杵磨崖仏 亀塚古墳 大田村重要文化財宝塔
国東町地方拠点史跡等総合整備史跡

(宮崎県) 日向国衙跡

(鹿児島県) 西田橋解体復元

水迫遺跡出土後期旧石器時代住居構造

(沖縄県) 那覇市新都心整備事業資料整理調査報告書作成
ドイツ皇帝博愛記念碑

京都大学大学院の教育

京都大学大学院人間・環境学研究科 文化地域・地域環境学専攻 環境発展論講座において、住環境保全論（山中敏史、浅川滋男）、考古環境学論（田辺征夫）、文化財保存科学論（沢田正昭）、文化財保存調査法論（光谷拓実、松井 章）等に関する講義、およびそれらに関する演習および実習をおこなった。なお、講義は京都大学と奈良国立文化財研究所において実施し、演習および実習は主として奈良国立文化財研究所の各担当教官の研究室において開催した。



京都大学大学院生との記念撮影（文化財資料棟にて）

奈良女子大学大学院の教育

奈良女子大学大学院人間文化研究科（博士後期課程）との連携では、比較文化学専攻文化史論講座の3科目を受け持っている。歴史考古学特論（花谷 浩）、宗教考古学特論（金子裕之）、歴史資料論（渡邊晃宏）である。歴史考古学では6・7世紀の寺院や瓦磚の諸問題、宗教考古学では律令的祭祀の諸問題、歴史資料では木簡の諸問題を講じており、それぞれ講義は飛鳥・藤原京、平城京跡や諸寺院などの発掘資料を前におこなっている。貴重な資料を眼にしながらの講義はまことに「贅沢」であり、まさに奈文研ならではの講義といえよう。